

find

Type

command

Syntax

```
find [form] textToFind [in field]
```

```
find empty
```

Summary

Searches the [fields](#) of the [current stack](#).

Introduced

1.0

OS

mac, windows, linux, ios, android

Platforms

desktop, server, mobile

Parameters

Name	Type	Description
<i>form</i>	enum	<p>「形式が指定されていない場合は、通常形式が使用されます。</p> <p>次のいずれかの項目:</p> <p>Normal - textToFind 内のフィールドの単語の先頭で各単語を検索します。</p> <p>文字、文字、文字、文字 - textToFind 内のフィールドの単語内の任意の場所で各単語を検索します。</p> <p>Words、Word - textToFind 内の各単語を完全な単語として検索します。</p> <p>全体 - textToFind の全体を完全な単語のシーケンスとして検索します。</p> <p>string - textToFind の全体を任意の場所で検索します。」</p>
<i>textToFind</i>	string	

<i>field</i>	フィールド参照として評価される任意の式。フィールドが指定されていない場合、find コマンドは現在のスタック内のすべてのフィールドを検索します (dontSearch プロパティが true に設定されているフィールドを除く)。
--------------	--

Examples

```
find "heart"
```

```
find string "beat must go on" in field "Quotes"
```

Value

Name	Type	Description
<i>the result</i>		検索が成功すると、テキストを含むカードが表示され、見つかったテキストの周囲にボックスが描画されます。テキストがスタック内に見つからない場合、result 関数は「見つかりません」を返します。

Related

glossary: [property](#), [current card](#), [reset](#), [return](#), [container](#), [function](#), [command](#), [current stack](#)

object: [field](#), [stack](#), [card](#)

property: [caseSensitive](#), [dontSearch](#), [mark](#)

keyword: [normal](#), [whole](#), [characters](#), [string](#), [character](#), [the](#), [words](#), [word](#), [card](#), [field](#)

constant: [return](#)

function: [foundChunk](#), [foundField](#), [offset](#), [matchText](#), [foundText](#), [foundLine](#), [foundLoc](#)

command: [replace](#), [unmark](#), [sort](#), [mark](#)

control structure: [function](#)

Description

find コマンドを使用してテキストを検索します。

find コマンドは、以前に見つかったテキストの後で (以前の find コマンドがあった場合)、または現在のカードの最初のフィールドの先頭から (そうでない場合) から検索を開始します。

find コマンドの 6 つの形式は、さまざまな方法で検索します。findnormal、findchars、findwords フォームは textToFind 内の各単語を検索しますが、単語が一緒にある必要はありません。それらはすべて同じカードに表示されていけばよいのです。単語の検索と全形式の検索では、完全な単語のみを検索

します。文字列検索および全体検索フォームは、textToFind を単位として検索します。

通常の検索形式では、単語の先頭にある textToFind 内の各単語が検索されます。たとえば、「ring bell」を検索すると、「ringing」と「belltower」は検索されますが、「bring」や「Campbell」は検索されません。指定するすべての単語はカード上のフィールドにある必要がありますが、同じ順序である必要はなく、同じフィールドにある必要さえありません。

find chars フォームは、textToFind 内の単語の任意の部分で各単語を検索します。通常の検索形式とは異なり、文字の検索形式では、textToFind 内の単語がカード上の単語の先頭で見つかる必要はありません。たとえば、「ring bell」という文字を検索すると、「bring」、「ringing」、「belltower」、および「Campbell」が検索されます。標準形式の検索と同様、すべての単語がカード上のどこかに存在する必要がありますが、同じ順序または同じフィールドにある必要はありません。

単語検索フォームは、textToFind 内の各単語を検索します。すべての単語は単語の一部ではなく、完全な単語である必要があります。たとえば、「ring bell」という単語を検索すると、「ring」と「bell」は検索されますが、

「ringing」、「bring」、「belltower」、または「Campbell」は検索されません。find Normal および find chars フォームと同様、すべての単語がカード上のどこかに存在する必要がありますが、同じ順序または同じフィールドにある必要はありません。

文字列検索フォームは、textToFind 全体を1つの単位として検索します。通常の検索、文字の検索、および単語の検索フォームとは異なり、文字列検索フォームでは textToFind が正確に見つかる必要があります。単語は同じ順序で同じフィールド内にあり、他の単語で区切られていてはなりません。たとえば、文字列「ring bell」を検索すると、「ring bell」と「bring belltower」は検索されますが、「ring the bell」（「ring」と「bell」の間にある余分な単語）、「Ringbell Street」（「ring」の間にスペースはありません）は検索されません。「ring」と「bell」の間にはスペースはありません。"と"ベル"）、または"ベルを鳴らす人"（単語の順序が間違っています）。

全体検索フォームは、textToFind 全体を1つの単位として検索します。単語検索フォームと同様（文字列検索フォームとは異なり）、全体検索フォームでは、textToFind 内の各単語が単語の一部ではなく単語全体として検索される

必要があります。たとえば、「ring bell」全体を検索すると、「ring bell」は検索されますが、「bring belltower」は検索されません（「ring」と「bell」は単語全体ではなく単語の一部です）、「ring the bell」（「」の間に追加の単語）は検索されません。「ring」と「bell」）、「Ringbell Street」（「ring」と「bell」の間にスペースがない）、または「bellringer」（単語の順序が間違っています）。

注: 通常の検索、単語の検索、および全体の検索フォームは単語または単語の一部を検索するため、スペースを含む文字列は検索できません。文字列検索フォームでは、スペースを含む文字列は検索できますが、リターン文字を含む文字列は検索できません。

find コマンドの find empty 形式は、最後に見つかった単語からボックスを削除し、find コマンドをリセットします。これにより、次の検索は、次の検索の場所ではなく、現在のカードの先頭から開始されます。別のカードに移動すると、検索コマンドもリセットされます。

caseSensitive プロパティの設定により、検索で大文字と小文字が同等であるとみなされるかどうかが決まります。

注: 検索では、発音区別符号によって異なる文字は同等とはみなされません。たとえば、「mére」を検索すると、「mere」という単語は検索されません。

通常、offset 関数と matchText 関数は find コマンドよりも高速です。ただし、これらの関数とは異なり、find コマンドは一度に1つのコンテナではなく、スタックのすべてのフィールドを一度に検索できます。

ヒント: バッチ検索を実行するには、mark コマンドの find 形式でマークカードを使用して、一致が見つかったすべてのカードの mark プロパティを設定します。 .